

1 枚目

枝幸町歌登地区を流れる「北見幌別川」を主な活動場所としております、歌登ヤツメウナギ研究会と申します。当会では、「ヤツメウナギの資源回復」「次世代の育成」「町全体での流域保全」を目指し一年を通して活動をしております設立して3年目となる、まだまだ活動して間もない会です。

昨年度も本助成金に採択いただき、ヤツメウナギの孵化・放流活動や町民への教育普及活動をはじめ、充実した活動を行うことができました。本年においても、引き続き活動を継続し実績の蓄積を行なっていきたいと考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。

2 枚目

今年度の活動内容は、「孵化・放流活動」「調査・研究活動」「教育・普及活動」の3点を主軸とし活動を行なっていきたいと考えております。次ページより詳細についてご説明させていただきたいと思っております。

3～4 枚目「活動① 孵化・放流活動」の詳細について

「孵化・放流活動」は会設立時より継続して実施している活動です。1年目は、北見幌別川におけるヤツメウナギの産卵期を特定することができず、採卵する親魚の捕獲に苦戦し、失敗に終わりましたが、昨年度町民を含め様々な方々の助力の末、孵化・放流と1連の流れを無事成功させることができました。

今年度につきましても昨年度得られた知見をもとに、より効果的な孵化・放流活動を実現していきたいと考えております。

5 枚目「活動② 調査・研究活動」の詳細について1

今年度からは、「ヤツメウナギの基礎的情報の蓄積」と「ヤツメウナギの減少要因についての調査」を実施していきたいと考えております。

ヤツメウナギは産卵時に、大きな石を移動させて適した産卵環境を整えます。そのため、河床には目視可能な直径2～30cm程度のヤツメウナギの産卵床ができます。これを毎年産卵期にカウントし、GPSで座標データを蓄積することで、ヤツメウナギの遡上数や産卵適地、そして遡上数などの状況変化を知ることができるようになります。

6 枚目「活動② 調査・研究活動」の詳細について2

また放流後に一度、放流地点での生育調査を実施します。昨年度は、3地点で放流を実施しましたが、定着したと思われるのは1地点のみでした。しかし、このことからヤツメウナギ幼生期における良好な生育環境が明らかになってきました。

この知見をもとに今年度は、これまで難しいとされていたヤツメウナギ幼生の長期飼育に挑戦し、より生存率の高い大型に成長した状態での放流実施に向けて調査・研究をしていきたいと考えております。

7～8 枚目「活動③ 教育・普及活動」の詳細について

当会では、設立した初年度より講演会や町民への教育普及活動を行っていきたいと考えております。町民向けの講演会につきましては、年1回を予定する予定です。例年、「河川保全」や「活動例」などを広く町民の皆さまに知っていただける機会を提供できる場となっております。

また、当会で孵化したヤツメウナギ幼生の一部を町民の皆様と放流する「放流会」も実施していく予定です。昨年度は、本会初の「放流会」を有志町民と実施することができました。なかでも、町内小学校と連携し総合学習の時間の中で、ヤツメウナギを含めた水辺の生き物についての紹介や会の活動内容を周知する授業を放流会と同時に実施ことができ、次世代へ向けた教育普及活動を行うことができました。

こうした活動内容や地域自然を町内外問わず、より多くの人々に周知できるよう、町内展示施設「サケの里」にて、調査中捕獲したヤツメウナギをはじめとした魚類や、当会の活動を紹介するパネルの展示も行なってきました。ヤツメウナギの幼生は町内でも見たことのない方が多く、町内の自然を知ることのできる機会となっているようです。今年度につきましても、展示キャプション等に改良を加えながら展示を行なっていきたいと考えております。

終わりに

活動の詳細についての紹介は以上となります。2年連続の採択と昨年度の採卵・孵化・放流の成功に会員全員強い活動意欲に満ちております。今年度も本会の活動につきまして、御助力のほど何卒よろしく願いいたします。